

【法蔵館文庫】

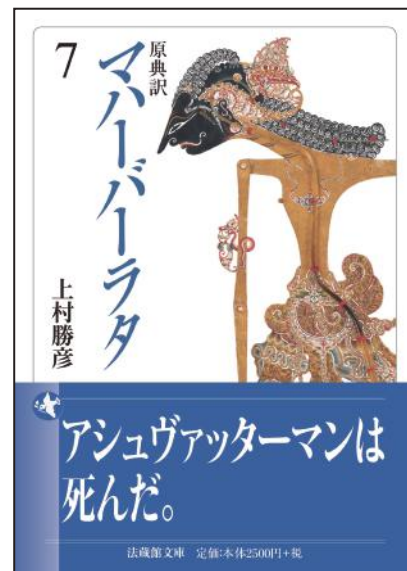
原典訳 マハーバーラタ7

インド古典

かみむら かつひこ
上村勝彦訳

▼文庫判・並製カバー！473頁・定価二、七五〇円

2026年5月刊行



古代インドに産声を上げ、いまなお人々の心に生き続ける世界最長の叙事詩。信頼すべきサンスクリット原典訳の待望の復刊。【全8巻】

【7巻あらすじ】 大戦十一日目。軍司令官に就任したドローナの猛攻に、パーンダヴァ軍は苦しめられる。アルジュナの愛息アビマニユ、そして羅刹のガトートカチャが戦場に命を散らす。クリシュナはドローナに対抗するため、ある奇計を講ずる。

【目次】

家系図
主要登場人物
マハーバーラタ関連地図

- 第7巻 ドローナの巻(ドローナ・パルヴァン)
- (65) ドローナの軍司令官就任(第一章—第十五章)
 - (66) 特攻隊の殺戮へ(第十六章—第三十一章)
 - (67) アビマニユの死(第三十二章—第五十一章)
 - (68) 誓約(第五十二章—第六十章)
 - (69) ジャヤドラタの死(第六十一章—第二百一十一章)
 - (70) ガトートカチャの死(第二百一十二章—第二百五十四章)
 - (71) ドローナの死(第二百五十五章—第百六十五章)
 - (72) ナーラーヤナの武器の発射
(第百六十六章—第百七十三章)

【訳者略歴】

上村勝彦(かみむら かつひこ)
一九四四年、東京浅草に生まれる。一九六七年、東京大学文学部卒業。一九七〇年、同大学院人文科学研究所(印度哲学)修士課程修了。サンスクリット詩学専攻。元東京大学東洋文化研究所教授。
主な著訳書に、『屍鬼二十五話』(平凡社東洋文庫)、『カウティリヤ実利論』(岩波文庫)、『インド神話』(ちくま学芸文庫)、『始まりはインドから』(筑摩書房)、『インド古典演劇論における美的経験』(東京大学出版会)、『バガヴァッド・ギーター』(岩波文庫)、『インド古典詩論研究』(東京大学出版会)、『真理の言葉・法句経』(中央公論新社)などがある。
二〇〇三年、逝去。

法蔵館

定価 二、七五〇円

上村勝彦訳

原典訳 マハーバーラタ7

お名前
お電話

ご住所

注文書

(書店印)

ご担当

様冊

ISBN : 978-4-8318-2719-7 C0198

ご注文はFAX:075-371-0458

法蔵館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp